

## 原告箕輪登経歴

- |              |     |  |
|--------------|-----|--|
| 1924年(大正13年) | 3月  | 小樽市で生まれる   |
| 1941年(昭和16年) | 3月  | 市立小樽中学校卒業  |
| 1942年(昭和17年) | 4月  | 北大医専入学   |
| 1945年(昭和20年) | 3月  | 北大医専卒業。  |
|              | 4月  | 陸軍軍医見習士官を志願し合格   |
|              | 8月  | 軍医少尉に任官。終戦でポツダム中尉となる   |
|              | 9月  | 北大外科に勤務  |
| 1946年(昭和21年) | 3月  | 日本医療団寿都病院(のちの寿都町立病院)外科医長に赴任  |
| 1948年(昭和23年) | 3月  | 寿都町に箕輪外科医院開業   |
| 1950年(昭和25年) | 3月  | 妻稲子と結婚   |
| 1952年(昭和27年) | 9月  | 小樽市稲穂町で箕輪外科医院開業  |
| 1955年(昭和30年) | 8月  | 小樽市朝里町で朝里療養所を開業  |
| 1959年(昭和34年) | 11月 | 医学博士号取得  |
| 1960年(昭和35年) | 11月 | 衆議院初出馬、落選(無所属)   |
| 1962年(昭和37年) | 3月  | 朝里療養所を朝里病院に改称  |
|              | 7月  | 朝里温泉外科病院開設   |
|              |     | 佐藤栄作北海道開発局長官(当時)の秘書となる。  |
| 1967年(昭和42年) | 1月  | 衆議院選で初当選(自民党公認)。<br>以後1990年(平成2年)2月まで連続8期23年間衆議院議員<br>衆議院では社会労働委員会と沖縄及び北方領土に関する特別<br>委員会に所属。党内では国防部会と安全保障調査室に所属。<br>日韓友好議員連盟結成 |
| 1969年(昭和44年) |     | 自民党国会対策副委員長・国民生活局長   |
|              | 12月 | 衆議院選第2回当選  |
|              |     | 国防議員連盟副会長<br>日韓防衛議員連盟幹事長   |
| 1971年(昭和46年) | 10月 | 自民党安全保障調査会会長代行に就任  |
| 1972年(昭和47年) | 7月  | 防衛政務次官に就任  |
|              | 12月 | 衆議院選第3回当選<br>防衛政務次官(2回目)   |

- |              |     |   |
|--------------|-----|---|
| 1974年(昭和49年) |     | 自民党出版局長   |
| 1975年(昭和50年) |     | 自民党国民運動副本部長   |
| 1976年(昭和51年) | 12月 | 衆議院選第4回当選   |
| 1978年(昭和53年) | 12月 | 衆議院運輸委員長に就任<br>自民党国防問題研究会代表世話人  |
| 1979年(昭和54年) | 10月 | 衆議院選第5回当選   |
|              | 11月 | 自民党政務調査会副会長   |
| 1980年(昭和55年) | 3月  | 日本戦略研究センター理事長   |
|              | 4月  | 衆議院安全保障特別委員会理事  |
|              | 6月  | 衆議院選第6回当選   |
|              | 7月  | 自民党副幹事長に就任  |
| 1981年(昭和56年) | 11月 | 郵政大臣に就任   |
| 1983年(昭和58年) | 12月 | 衆議院選第7回当選   |
| 1984年(昭和59年) | 3月  | 自民党道連会長に就任<br>21世紀の国民医療を考える会座長  |
| 1986年(昭和61年) | 7月  | 衆議院選第8回当選   |
| 1987年(昭和62年) | 11月 | 衆議院安全保障特別委員会委員長   |
| 1990年(平成2年)  | 1月  | 最後の登院   |
|              | 2月  | 総選挙   |
| 2003年(平成15年) | 12月 | 自衛隊のイラク派兵を差止めたいと札幌弁護士会へ相談   |
| 2004年(平成16年) | 1月  | 北海道の弁護士有志104名が代理人となり本訴訟を提起。   |
|              | 2月  | 原告・弁護士団会議に、元防衛庁教育訓練局長小池清彦氏(現新潟県加茂市長)が出席し激励受ける。                                  |
|              | 4月  | 遠菜穂子さんらの拘束事件に関し、アラブメディアに「私は、あなた方が拘束した3人の日本人の代わりに人質になる覚悟があります」とファックスレターを送り、救出に尽力 |
|              | 4月  | 拘束事件に関し、政府や一部報道機関の「自己責任論」を批判するコメントを発表   |
|              | 9月  | 立川自衛隊宿舎ビラ配布刑事事件(東京地裁八王子支部)で証言(12月無罪判決)。   |
|              | 11月 | 中東の正義と平和のための国際会議(オランダ・ハーグ国際司法裁判所)に出席(直前に体調壊し、代理人が演説原稿を代読)                       |